

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第115号 2024年5月2日

P15 今回の表紙
「食を極める期待のホープ」

- P 2 令和6年度予算 注目事業&主な質疑
- P 6 新年度予算の注目点や課題
- P 7 こんなことが決まりました 生ごみ袋値上げ
- P 9 一般質問 4議員が登壇
- P 13 子育てママ・JA北ひびき和寒役職員との意見交換会
- P 16 町民インタビュー聞かせて バスケットボール少年団

魅力あるまちづくりで更なる町の活性化を 町民みんなの意見を未来のカたちへ



▲ 3月16日の第3回ふくしのまちづくりサミットでは約40名の町民が参加

創出の場などが計画されています。

農業・福祉が連携した雇用者の就労支援事業として

が大切にされる機能や障がい者

新たな施設では、子ども

損失分を8年間支援します。

年度からは、町が運営上の

新しい施設運営の開始翌

成します。

を活用し、差額分を全額助

については国・道の補助金

町は建設用地の無償貸

与、建設費などの初期費用

に委ねるとした基本協定を

町と締結しました。

特別養護老人ホーム芳生苑と老人デイサービスセンター健康苑の建替えに伴う新たな福祉施設の設置・運営について、3月16日社会福祉法人ゆうゆう(当別町)に委ねるとした基本協定を町と締結しました。

ふくしのまちづくり
(66005万円)

令和6年度の一般会計・特別会計・企業会計は、3月7日から14日の4日間、議員全員で構成する予算審査特別委員会(石田利美委員長・池澤哲也副委員長)に付託され慎重に審議し、原案どおり可決するものとなりました。

注目事業や主な質疑応答を厳選して掲載します。

ふくしのまちづくり事業推進補助 660万円

- (1) コンサルティング(経営課題を明らかにし診断や助言等を行う)業務
- (2) 町民主体の検討・推進組織設置及び会議
まちづくりラボ・サミット開催や小中学校及び教育機関への福祉教育実践
町外人材との交流(大学生の職業体験など)

スキルアップ事業 訓練・研修を通じた能力向上 1,540万円

- (1) スキルアップマネジメント業務
介護技術、専門技術などの向上(大学等の講義受講など)
- (2) 経営コンサルティング業務(指定管理している福祉事業)
- (3) 介護人材確保

福祉施設整備事業補助金 4,785万円

基本設計、配置計画、補助金要望調査など

ふくしのまちづくり基本構想・基本計画の概要版は、4月19日に全戸配布されました。



令和6年度予算の詳細は広報わっさお4月号をご覧ください。

令和6年度予算総額 66億4955万円

前年度比 2億1150万円増 (↑ 3.29%)

若者を呼び込み定住・定着を図る

地域おこし協力隊
(5631万円)

Q 地域おこし協力隊とは都市部の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、定住・定着を図ります。任期は3年。人件費・活動費等は国の特別交付税で賄われます(上限あり)。

Q 任期終了後の雇用は。

A 農業分野の方は就農に向けて、それ以外の方については町内事業所への就職の斡旋や、役場の採用も考えていく。

Q 定住できる環境づくりや地域サポート体制は。

A 地域おこし協力隊の活動や定住に向けてのサポートを民間事業所にもお願いしよう。

令和6年度 地域おこし協力隊

名称	人数	内容	
企画提案型	1人	現在3年目	メロン栽培・特産品の開発(令和7年2月末まで)
新規就農者確保・育成	2人	新規活動中	就農準備に関する活動(3月から1人、4月から1人)
子育て支援クリエイター	1人	新規活動中	子育て支援や子どもの居場所づくりの研究
移住定住クリエイター	1人	募集中	移住・定住に繋がる企画・活動
魅力発信クリエイター	1人	募集中	特産品や観光資源を活かした町の情報発信
デジタル創出クリエイター	1人	募集中	和寒町内のDX推進

奨学金返還支援
(20万円)

町内で働く方に奨学金返還金額の年額20万円、最長5年、最大100万円を支援します。対象は左記の全て該当する方です。

- ・5年以上の町内居住の意志を有する方
- ・大学、高校等を卒業し、申請年度初めて年齢が30歳未満
- ・町内事業所等の正規雇用勤務で、町内に住所を有する方
- ・奨学金を返還している方、もしくは返還する予定の方
- ・町税等を滞納していない方
- ・暴力団員と関係がない方
- ・公務員以外の職種である方

Q 公務員を対象外としている理由は。

A 公務員は特別交付税の支援を受けられないため。

外国人介護士育成
(372万円)



▲昨年9月旭川福祉専門学校外国人留学生が芳生苑へ見学に来られました。

Q 外国人介護士が本町に来るスケジュールは。

A 令和5年、6年度に奨学金を支払い、令和7年度から5年間施設で働くスケジュールとなっている。
令和7年度から、特養で1名の留学生が採用予定。

自分事として行動するための自治会防災

防災力強化・備蓄資材整備
(28万円・62万円)



3月17日、仲町自治会が実施した防災の集いに参加して、北海道上川総合振興局危機対策の担当職員から、能登半島の地震や防災についての講義を受けました。

「和寒町も絶対安全とは言えない」という話を聞いて、身近な事と捉えたので備蓄など災害への備えを考えたいです。(西町 太田清さん)

Q 町職員の災害対応の訓練は。

A 職員訓練として災害が起きる場所を確認し、土のうの作成もしており、災害時に慌てないようとしています。

Q 防災士の新たな配置は。

A 防災士を取得されている方が年配になってきているので、各自治会に防災士の取得の話をしようと考えている。

寄付額アップで財源確保と経済活性化を

ふるさと納税
(3000万円)

Q 令和5年度と令和4年度の寄付件数と金額は。

A 令和5年度は3月7日時点で件数が2125件、金額は3570万円。

令和4年度は件数が2658件、金額は3488万2000円。件数は前年度より約500件下回っているが、金額は増加傾向。

(1万円未満切捨て表記)

	件数	金額
令和5年度	2,190件	3,694万円
令和4年度	2,658件	3,488万円
令和3年度	3,125件	4,000万円

▲ふるさと納税寄付件数と金額 (令和5年度確定値)

Q 令和6年度返礼品で新しい商品は。

A 何件か申し出があるが、開発段階なので新しい商品を扱うように進めていく。

健康あんしんダイヤル24
(88万円)

Q 健康相談の実績は。

A 令和4年度の相談総数は153件、令和5年度は1月までの相談総数は76件。

内容は症状の相談が多く、時間としては7時から8時、18時から21時までが多い。(24時間対応)



健康あんしんダイヤル24
☎0120-200-714

基金このまま使い続けて大丈夫？

基金（貯金）の一般財源繰入れ
（4億5437万円）

	基金残高	取り崩し額
令和6年度	30億 5,486万円	4億 5,437万円
令和5年度	34億 3,022万円	3億 8,092万円

▲基金残高と取り崩し額（見込み）

Q 令和6年度末、基金を4億5千万円取り崩すと残金が30億円になり、今後同じように繰入をしていくと、数年先に基金が無くなってしまふ恐れがあるが対策は。

A 基金を維持していくためには、今後止めていかなければならない事業もある。

基金の取り崩す額をなるべく下げるように見直し、財源を守るように努力する。

学校のエアコン

Q 令和6年度エアコンの設置に伴い、電気料はどの程度掛かるのか。

A 概算として小学校で年間155万円、中学校で87万円エアコン設置に伴い電気料が掛かる見込み。

Q エアコンの設置が夏に間に合わない場合の暑さ対策は。

A 暑さ対策として道教委から部活の中止などが通知され、また夏期休業期間を昨年同様の30日間に設定しており、これまで25日間の休業を延長している。

ヒグマ・鹿・アライグマの駆除体制

有害鳥獣駆除
（618万円）

Q 令和5年度の有害鳥獣の捕獲頭数は。

A 令和5年2月末時点でエゾシカが197頭、アライグマが164頭、ヒグマは0頭。

Q ヒグマの対策と猟友会の状況は。

A 北海道は春期捕獲を実施している。本町としても、猟友会と春期捕獲に関する打ち合わせをしている。

塩狩峠公園の案内看板

Q 商工会青年部より、旭川から本町に向かう時に塩狩峠公園が分かりづらく、看板があれば入りやすいのではという要望があったが。

A 国道の看板設置は、開発局に相談している。

（単位：頭）

	エゾシカ	アライグマ	ヒグマ
令和5年度	209	161	0
令和4年度	196	89	0
令和3年度	193	48	2

▲有害鳥獣捕獲頭数
（令和5年度確定値）



▲旭川方面から北上した塩狩峠公園周辺の看板



遠山 優太 議員

**地域活性化と人口減少
対策の基盤づくりを**

地域おこし協力隊の増員
を目指し、移住定住促進
事業の大幅な拡充を計
画。専門知識やスキルを
有した人材の採用に期
待。



中原 浩一 議員

**自治会活動費 5年で減
額50%なら支援員を！**

自治会は自治体(和寒町)
の屋台骨。減額を進める
のであれば、各自治会活
動維持のための支援員
(町職員)を配置し、サ
ポートするべき。



池澤 哲也 議員

**ふくしのまちで活性化
誰もがうらやむ町へ！**

福祉を核とした、かつて
ない町づくりが本格的に
始動。人口減少対策や活
性化に向け、小さな町の
大きな挑戦に期待！



石田 利美 議員

**ふくしのまちづくりの
今後の行方は**

ふくしのまちづくり構想
ができ令和6年から進め
ていくが、今後、大きな
投資に見合った利用者の
メリットにつながるのか
調査すべき。

全議員8名で考える

新年度予算の注目点や課題は？

最小の費用で最大の効果をあげることができるか。

今後、事業が適正に行われているか注視していきます。



村岡 敏一 議員

**近年の熊の目撃情報多
数。町民の安心安全を**

各地でクマによる人身被
害が発生。本町でもクマ
が道路や宅地近辺の横断
目撃もある。最も効果的
なクマ対策、共生社会は。



酒向 勤 議員

**介護従事者等資格取得
と確保、定住費助成**

ふくしのまちづくりを進
めるためにも人材に対す
る更なる助成が必要で
す。



小野田 久美子 議員

**若い人に選ばれるまち
になるための対策を**

若い人が和寒町で子ども
を産み育てたいと思える
ように、更なる子育て対
策の充実や魅力あるまち
づくりは急務。



窪田 裕二 議員

**現実性のある「ふくし
構想」の構築を**

これから、「ふくしのま
ちづくり構想」を核とし
て和寒町は大きく変わろ
うとしている。今後は、
進展成る議論が必要。

製造価格高騰により

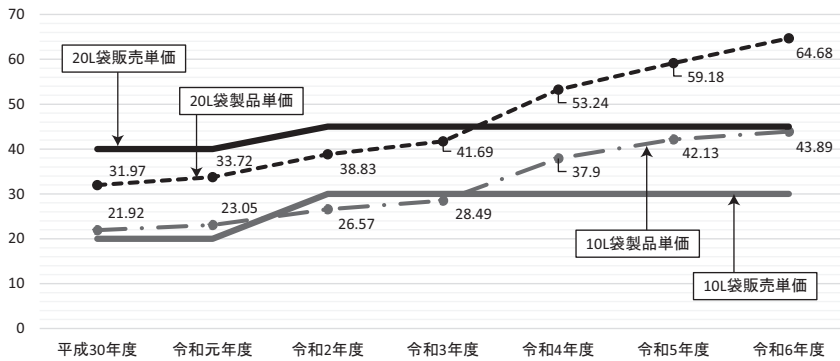
生ごみ袋値上げ

3月 定例会

第1回定例会は、2月28日～3月14日で開催しました。
町政執行方針、教育行政執行方針のあと、4人の議員が一般質問し、条例の一部改正や補正予算等の審議が行われ、すべて原案のとおり可決しました。



生ごみ袋購入単価と処理手数料の推移



製造価格高騰に伴い、生ごみ袋を値上げします。
生ごみを受け入れている剣淵町と協議の上、6月1日から料金を変更します。

生ごみ袋1枚あたり
10ℓ 30円 ↓ 55円
20ℓ 45円 ↓ 85円

これの大樹祝金

(140万円)

長寿のお祝いとして町から贈呈している内容を見直しました。

喜寿(77歳)の祝金は、1万円分の和寒町商業振興協同組合発行の商品券、米寿(88歳)の祝金は2万円、新設の百寿(100歳)祝金は5万円となります。

白寿(99歳)と大樹(100歳以上)は廃止となります。

学校のエアコン設置

(5830万円)

町内小・中学校にエアコンを設置します。

普通教室・保健室・職員室・校長室計24箇所を設置します。

議員のハラスメント根絶

災害対策など議会基本条例改正

ハラスメント防止

議員から議員へ、議員から町職員へのハラスメント（セクハラ、パワハラなど）を防止・根絶するために要綱を設け、町民から信頼される議会の実現を目指します。

議員の請負が可能に

地方自治法の改正により議員個人の請負について政令で定める額（300万円）以内で請負することが可能となりました。

議会改革・活性化推進

町民の信頼を高めるために、不断の改革と活性化に努めます。他の自治体議会との交流及び連携を推進し、分権時代にふさわしい議会のあり方について調査・研究等を行います。

災害時の対応

災害等が発生した場合、状況を的確に把握し、議会の業務を継続することも、町災害対策本部と連携し、国や道に要請活動を行います。



令和6年度予算審査報告

予算審査特別委員会に付託した令和6年度予算は各会計ごとに採決が行われ、一般会計は賛成6反対1、特別会計・企業会計は全員賛成で可決されました。

なお、反対討論はありませんでした。

意見書

将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書

提出者 村岡 敏一

意見書は可決し、関係行政省庁などに提出しました。

詳細は、和寒町ホームページの議会事務局、またはQRコードからご覧ください。



令和5年度 補正予算一覧表

(1万円未満切捨て表記)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
		△5869万円	47億1448万円
議会費	△390万円	議員報酬、期末手当ほか	
総務費	△145万円	南宗谷線地区米穀類乾燥調製貯蔵施設基金積立金、戸籍附票システム改修業務委託ほか	
民生費	△1415万円	子どものための教育・保育給付事業負担金、児童手当ほか	
衛生費	△3313万円	予防接種委託、可燃ごみ処理業務委託ほか	
農林業費	3879万円	地域担い手育成センター運営協議会負担金、土地改良区決裁金等支援事業補助ほか	
商工費	△600万円	中小企業経営基盤強化促進補助ほか	
土木費	△1040万円	橋梁長寿命化点検業務委託、公営住宅解体工事ほか	
消防費	△100万円	消防団員出動報酬ほか	
教育費	4516万円	体育施設等指定管理料、小・中学校空調設備設置事業ほか	
災害復旧費	△750万円	農地・農業用施設災害復旧事業補助	
給与費	△350万円	給料、職員共済費	
国民健康保険 (保険事業勘定)	△6586万円	北海道クラウド負担金、療養給付費、高額医療費ほか	
国民健康保険 (診療所施設勘定)	△920万円	会計年度任用職員報酬、出張医謝礼ほか	
後期高齢者医療 (診療所施設勘定)	112万円	保険料等負担金、一般会計繰出金	
介護保険 (保険事業勘定)	83万円	介護保険システム改修業務委託、特定入所者介護サービス費ほか	

小野田久美子議員



問 安心して子育てできる環境整備は 答 アンケート調査を実施する

問 ごみ処理分別変更後の状況は 答 令和3年と比べ令和5年は約5割減少

出生数低下は深刻な問題

高齢化率46%の本町の今年度出生数は、現在5人。

加速度的な少子化、人口減少を食い止めるため、若い子育て世帯のニーズにあった対策を早急に講じては。

奥山町長

令和7年度からの子ども子育て支援事業計画の策定に向けて、こども誰でも通園制度や現行の一時保育事業のあり方、ファミリーサポートや放課後児童クラブでのおやつ提供についてもアンケート調査を実施する。

香澤教育長

学校のグラウンドの使用は、学校の教育活動に支障がなければ使っているが、それ以外に使う場合は、校長が判断すれば使える。

○再質問

子どもの居場所でもある図書館を、祝日や年末年始にも開館してほしい。

香澤教育長

町に相談したい。



▲子どもや保護者の意見をよく聞いて対応を

ごみ分別の徹底で
処理経費の抑制を

今年度のごみ処理の状況と、研究課題になっている、ごみの戸別収集、燃料高騰などの影響によるごみ処理料金の今後は。

奥山町長

粗大ごみ、可燃ごみ、不燃ごみは、令和3年と比べて令和5年では約5割が減少している。戸別収集はごみ分別が進み量が減少しているので、引き続き

研究していく。

令和6年度の焼却処理に関する1戸当たりの単価は、可燃ごみが4万7000円、粗大ごみが5万3000円となっており、令和4年度に比べ各6000円の増加である。

今後処理費用が増加する場合の検討と、生ごみ処理場も人員確保や施設運営が難しくなることも予想されるため、共同運営している剣淵町とも協議を進め、焼却処理の費用について検討していく。

問 ふくしのまちづくりによる町の活性化は
答 全国へPRし注目を集める

問 新年度予算での人口対策は
答 地域おこし協力隊2名が就農研修



池澤哲也議員



国や道からの補助金は

民設民営での建設において国や道からの補助金は。

奥山町長

社会福祉法人が行う30人以上の特別養護老人ホームの整備に對して、北海道の補助事業により現在検討中の利用定員48床では、2億44万8000円と試算することができ。

また、設備、備品購入、職員募集などの施設開設に要する準備経費に對して4377万円、施設と設備合わせると、約2億4400万円が補助金として見込まれる。

在宅サービスに係る補助は、一般的な地域密着型の高齢者デイサービスの場合、1施設1300万円の交付金が道から交付される。

障がい者施設には、利用定員20人以下の就労継続支援事業所整備に對して、1施設5710万円が基準額とされ、国から2分の1、道から4分の1が補助される。

○再質問

福祉を核としたまちづくりで、町の活性化をどのように進めるのか。

奥山町長

この構想は全国的にも、あまり例のない取り組みであり、学生や若い人たちが和寒で学びたいという環境や、全国から視察に来ていただけるような環境づくりを行っていききたい。

そのことにより、交流人口を増やし、本町に興味を持っていただく取り組みになるよう、運営する社会福祉法人ゆうゆうと連携して、国や道にも協力を求めながら努め、まちづくりに繋がっていききたい。



▲昨年9月 北星学園大学の学生による保育所実習

就農研修後の

定着に向けた取り組みは

地域おこし協力隊として就任される方が、3年間の研修期間を経て本町で就農するため、どのように農地の確保を行うのか。

また第三者継承について、農業者に対しアンケートによる意向調査を既の実施されているが、今後はどのように進めているのか。

奥山町長

新規就農者受入意向調査の結果を基に、担い手育成支援チームにおいて情報共有を図るとともに、農地のあつせんを担っている農用地利用改善組合などの関係機関と連携を密にしながら、新規就農希望者2名の意向も踏まえ、できるだけ早い時期から農地の確保に向けた調整を進めたい。

第三者継承については、地域担い手育成センターにおいて、第三者への移譲が可能な農業者と新規就農希望者のマッチングを検討するなど、両者にとって有益な取り組みとなるよう進め、研修終了後に農業者として本町に定着して頂けるよう支援していく。

石田利美議員



問 ふくしのまちづくり基本構想・基本計画は 答 基本構想実現に向けて最大限努力する

民設・民営の考えは

町長は記者発表で、令和6年度にふくしのまちづくり基本構想実現に向けたコンサルティンク業務や町民主体の推進組織設置など関連事業の補助を行い、福祉施設は民設・民営で行うことを公表したが、考えは。

奥山町長

基本構想や基本計画が出来ても誰が施設の整備や運営をするのが一番重要だったが、新たな施設の整備運営を、当別町で先進的な福祉事業に取り組み、様々な実績を有する「社会福祉法人ゆうゆう」から内諾をいただいた。

今回の事業は、全国的にも前例のない取り組みと伺っており、今後は町と社会福祉法人ゆうゆう、社会福祉協議会の三者による包括連携協定に基づき、多くの町民にも協力をいただきながら、基本構想の実現に向けて最大限の努力をしていく考えである。

○再質問

建設に掛かる費用は。

保健福祉課参事

総事業費は概算で30億円を超える金額が必要になると考えている。

○再質問

土地は町の所有地だと思うが、施設はどちらの財産になるのか。

保健福祉課参事

建物は民間が建てるので民間の財産になる。

○再質問

この大プロジェクトは、多額の事業費を掛けるため、将来的に有効的な建物で、健全経営をすることが大事だと思う。

令和9年に福祉施設建設完了予定だが、令和8年1月には町長選が行われると思うが、出馬する覚悟があるのか。

奥山町長

このプロジェクトを軌道に乗せて、町民の皆さんが安心して暮らせる町にしていかなければ、この強い思いもあるが、基本的には任期を全うした上で考える必要があると思っている。



▲町・社会福祉法人ゆうゆう・社会福祉協議会による包括連携協定を締結し、基本構想実現へ動き出した

要望

まずはこの課題を解決するた
め誠心誠意努めたい。

課題解決にはまだまだ時間がかかるので、奥山町長は次期選挙も出馬して、意思表明をしっかりやって頂きたい。

問 带状疱疹とRSウイルスワクチンの導入は 答 疾患や国の動向などに注視していく



遠山優太議員



問 空き家活用と住宅支援の推進は 答 町内業者や団体と連携を強化したい

带状疱疹ワクチンの普及に向けた本町の考えは

带状疱疹は50歳から発症リスクが急増し、高齢化が進む本町においても患者の増加が見込まれる。

国の動向や定期接種化に先駆けたワクチンに対する公費助成制度を導入する考えは。

奥山町長

疾患に関する啓発に努めながら国の動向などを注視する。

○再質問

带状疱疹ワクチンの助成は、現在38市町村が導入済みであり、4月以降は60を超える自治体が導入見込みであるが。

奥山町長

受け止めて対応していく。

高齢者の肺炎予防対策は

近年、国では肺炎による死者の98%が65歳以上の高齢者であると示されている。

特に注意喚起されているRSウイルス感染症の60歳以上に対する任意予防接種費用の一部公費助成の考えは。

奥山町長

慎重に検討したい。

空き家の活用方策は

令和6年度の予算では、移住定住促進事業の拡充を計画しているが、空き家を活用した移住定住促進を目指した今後の方策は。

奥山町長

空き家の増加が見込まれることから、所有者に直接空き家バンクの登録を働きかける。

○再質問

多くの市町村は、移住定住促進を目的に独自の住宅支援を推進しているが、本町の支援や補助に対する考えは。

奥山町長

地域おこし協力隊や他の自治体の取り組みを含め、情報収集に努める。

○再質問

今後、移住定住促進に対して他の市町村と差別化を図る構想はあるのか。

辻副町長

現在、構想や計画は持ち合わせていないが様々な情報を集めて取り組んでいく。

○再質問

移住定住促進に向けて、町内の業者や団体と連携を強化していく考えは。

奥山町長

い。今後も連携を強化していきたい。

和寒町
空き家・空き地
バンク

売りたい人と買いたい人がつながる

「和寒町空き家・空き地バンク」は、ご自身が必要なくなった町内の空き家・空き地をウェブサイトに掲載し、売りたい人と買いたい人を結びます。



▲空き家・空き地バンクの詳細は和寒町ホームページをご覧ください。



「子育て支援が充実しているから住みたいな」と思う町に

子育てママとの意見交換会

2月12日、子育てに関する要望を聞き町政に反映させる目的で、総務経済常任委員会が子育て世代のママ7名との意見交換会を役場で開催しました。

参加された方からは、「和寒町の子育て支援はとても厚く、特に医療と交通費助成はありがたい」との話がある一方、「子どもが自然の中で遊べる場所がほしい」「子どもが（外遊びする

のに）バスケットボールのゴールを設置してほしいと名前も書いて役場の投書箱に要望したのに音沙汰がない」「中高生と高齢者との繋がりを増やすために、ごみ拾いや以前やっていた除雪ボランティアをやったら交流できるのではないか」「習い事の送迎サービスを実施してほしい」など様々な意見がありました。

いただいた意見・要望は、今後勉強しながら町政に反映できるように努めていきます。



▲子育て・教育・雇用創出など多彩な意見が出ました

住民の多様な意見を町政に反映へ

加速した畑地化 本町の農業はどこへ向かえばいいのか



▲多くの意見や問題が出ました

JA北ひびき和寒役職員との意見交換会

2月17日、農業における現状の問題や今後の課題について、JA北ひびき和寒役職員と農業議員連盟との意見交換を行いました。

まず、カントリーエレベーターは、令和8年に事業費の償還が終わり、JAとの指定管理契約も期限が迫り、その後の管理運営については組合員に寄り

添った現状の運営が望ましく、施設の譲渡までの考えには及ばないのが現状として挙げられた。

次に交付対象水田から除外する畑地化の影響については、「土地の評価額の下落によって営農継続していけるのか心配」「圃場の大区画化への必要性はあるが、誰が旗振り役をするのか」等懸念される内容と、さらに農村部に点在する廃墟家屋の問題は、今後さらに拡大する事が予想され、改善策として町からの支援はどのようなものが考えられるのか等、意見が交わされました。

今後議論を深めながら町政に反映できるように努めていきます。

※農業議員連盟 令和5年4月改選後、4名の農業議員で結成。
農業政策等の勉強会や町民からの要望等、町政への反映を目指す。

議員力と議会力アップで町民福祉の向上を

分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会を目指して



▲午前中、町議会議員の研修では、江藤教授よりの確なアドバイスをいただきました

更なる議会改革を進めるため、大正大学社会共生学部公共政策学科 江藤教授をお招きして、3月24日午前は議員研修で議会の役割や改善点などを伺いました。

午後からは、公民館で議会主催の一緒に学ぶ講演会「あなたの参加で議会が変わる」を開催し、町民と上川管内市町村議会議員80名が参加されました。

議員報酬は

新しい原価方式で

講演の中で江藤教授は「選挙がないのは議会の危機。無投票は議員の高齢化や男性ばかりになる。コミュニティや魅力がなくなるのは民主主義の問題になる。」

議会力アップのためには「議員の報酬は活動量に合わせて新しい原価方式にする。近隣自治体の議会と比較するのは問題。」
「政務活動費の導入と議会事務局職員の増員。」との助言がありました。

議案審議は大事

「議案審議を抜本的に変え、質疑の後にはメリット・デメリットを議員間討議し、必要な場合は専門家などの参考人を招致



江藤俊昭氏

大正大学社会共生学部公共政策学科教授。第29次、第30次地方制度調査会委員。全国市町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長などを歴任。現在は議会サポーター・アドバイザー（栗山町、芽室町等）、地方自治研究機構評議委員など歴任。

する。」との助言がありました。
議会（だより）モニターや通年議会制など、貴重な講義を基に、議会で研究を重ね更により良い議会づくりに努めます。

議会は市民との希望と参加で始まる

住民フリースピーチから議会で協議し実現へ



▲上川管内の町村議会議員も多数参加し、共に議会改革について学びました

24日午後からは、公民館で江藤教授の講演会を開催しました。

「議会だよりの一般質問では、総合計画のどこに結びついていくのかを掲載する。」

「定例会での一般質問は個人の提案であり、それよりも議案審議が大事。」

愛知県犬山市議会のフリースピーチ制度では、議場で住民が行政に関する提案をし、それを議会審議に活かす取り組みが紹介されました。

スピーチする前に市民が「議会は市民との希望と参加ではじまります。議会に期待してください」との発言がありました。

スピーチの後、議員から質問を受け、そのキヤッチボールで提案内容が鮮明になり、議会の全員協議会や議員間討議でその後の対応を協議し、最終的には提案が実現しました。

新たな議会をつくるためには、市民を巻き込み、「住民のための議会」を進めることの重要性を学びました。

議会動画閲覧統計

令和5年12月定例会

一般質問	3人
総再生回数	161回
総再生時間	19時間



定例会・臨時会の議案と議決結果、意見書は和寒町ホームページの議会事務局で公開中！

議会へのご意見、お問い合わせは下記まで

gikai@town.wassamu.lg.jp

今回の表紙

三徳寿^{さん}しで厨房に立つ和寒町出身の高瀬^{さん}弘大^{さん}です。

札幌の有名ホテルで修行をしていましたが、家業を継ぐために3年前に帰郷しました。

仕事を通じて色々な人と関わりを持たることが嬉しく、その中でも「美味しかった」と言ってもらえることが、この仕事の醍醐味とお話されました。

趣味はスノーボードで、特技は書道という高瀬さんには、これからも和寒町に美味しい料理と爽やかな笑顔で活気をもたらしてくれると期待しています。



町民インタビュー 聞かせて

目標は 大会の出場！！

3月22日、バスケットボール少年団の子ども達と指導者の皆さんに小学校体育館でお話を聞かせていただきました。



活動内容を教えてください！

小学生13人と指導者4人で、火、水、金、日曜日の18時30分から20時30分までの練習を週4回、小学校体育館で行っています。



楽しい練習は？

パス練習やシュート練習が面白く、また友達と協力をしてパスを繋いでシュートをする「スリーメン」という練習やミニゲームなどの実践的な練習が一番楽しいです。

練習でつらいことは？

俊敏な動きを身に付ける練習が難しく、その中でたくさん走ることもあり、しらく感じる時があります。

目標はありますか？

まだ一度も大会に出場できていないので、まずは大会に出場してみたいです。そして、もっと上手になって中学生になっても続けたいです。

指導者の皆さまの声

子ども達は一生懸命練習をしているので、ユニフォームの新調や備品購入等のハードルはありますが、できるだけ早期に大会に出場できるように環境を作ってあげたいです。

また、バスケットボールの人氣は高まっていて、子どもの時に様々なスポーツを経験することは運動機能の発達にも良い事なので、多くの子ども達に遊びに来てほしいです。



取材を通して

発足間もないバスケットボール少年団の地道に練習を続けている姿が印象的でした。ぜひ、みんなの目標である大会の出場が叶うことを心から願っています。



広報委員の一言

新年度が始まり早一ヶ月。新入生や新社会人、部署の異動や転勤など新たなスタートを切った皆さんも少し慣れしてきた頃でしょうか。

私たち広報委員の事務局でも、高張翔伍書記が総務課に異動となりました。高張書記には2年間、議事録や議事録より作成にご尽力いただきました。今までありがとうございました。

新たなメンバーとして、金谷美希主査を迎えました。これからよろしくお願ひします。

金谷です。よろしくお願ひします。



(哲也)

議会傍聴のご案内

定例会の予定

6月18日(火)・19日(水)

みなさまのお越しをお待ちしています

3月定例会の傍聴者

11名